

北海 校友だより

第54号

2013年10月31日

北海校校友会

(事務局 北海高等学校内)

〒062-8601

札幌市豊平区旭町4丁目1-41

TEL 011-841-1161(代)

FAX 011-824-5519

編集責任者 長谷川 純一



<会長ご挨拶>

北海校校友会会長(中学44期) 遠藤安知



「原点」に憶う

野呂栄太郎氏が脚に障害があつて野球活動はできぬが、興味と関心が強く、当時はなかつたスコアラー的記録を黙々となし、飛沢後輩と戦術を組立て、野球の試合に高い成績を残したことであつたと思ひます。ここに北海野球の「原点」があります。

北海中19期の南部忠平氏が1932年のオリンピックロサンゼルスの陸上競技三段跳びで世界新記録を残し優勝。その成績が後の陸上競技を盛上げる「原点」となり先

年の常置部はそれぞれに課題をもつて耽々と取組んでいます。

これも「原点」に「母校・北海校と共に歩む力」を、同窓・同期・同舟の皆さんに持つて頂きたいからです。宜しくお願ひします。

明年・平成26年の校友会総会と同日開催の「校友の集い2014」は高校34期が当番で既に実行委員長加我洋三氏を中心と準備を進めております。校友の皆さんのご協力をお願いします。

創立128年の歴史と伝統を今に、卒業生38077名に及ぶ北海校を母校とし、歩みを続ける北海校校友会。

今年の平成25年度総会ならびに、「校友の集い2013」が5月31日にホテル・ロイトン札幌で、学校法人・北海学園に属する諸校関係者のご列席を頂き、高校33期当番で実行委員長木村正美氏を中心と同期の皆さんにお世話になり盛大に催されました。改めて厚くお礼を申し上げます。

今年の集いのテーマは、「北海校の先輩が今に残した業績を見る限り素晴らしい業績を残す限られた経済学者・思想家として今にその名を残す

我が北海校の不易の倫理である校訓『質実剛健・百折不撓』は、北海の教育の中ではぐくまれた生きる力の根源であり、私達の心の「原点」です。校友会の同窓・同期・同舟の私達を支える「原点」です。

私は北海校の不易の倫理である校訓『質実剛健・百折不撓』は、北海の教育の中ではぐくまれた生きる力の根源であり、私達の心の「原点」です。校友会の同窓・同期・同舟の私達を支える「原点」です。

例え、北海校野球部の誕生は古いですが、甲子園出場の歩みをたどると、成績向上のきっかけのひとつは先輩であり母校教師として伝統を築いた飛沢栄三先生が三期先輩であつた経済学者・思想家として今にその名を残す

この「原点」で添えられた言葉が、もういちどあの頃へ還ろう』でした。挨拶の中で少し述べましたがとても深い言葉でもあり、改めて書き記しました。

更に『原点』となる一つには、実践に生かせる情報が吾々の五体の感性を更に培い行動の基となることがあります。例えば、北海校野球部の誕生は古いですが、甲子園出場の歩みをたどると、成績向上のきっかけのひとつは先輩であり母校教師として伝統を築いた飛沢栄三先生が三期先輩であつた経済学者・思想家として今にその名を残す

私学の志、ふたたび

校長 山崎省一



今年度より校長に就任いたしました。微力ではございますが、北海高校の発展のために力を 尽くしたいと決意を新たにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私学をめぐる状況は年々厳しさを増し、北海の教育もその真価が問われる時代を迎えてます。

北海高校では、伝統的な人間教育をベースとしながら、近年は進学指導、課外活動、国際交流を柱として教育活動を開いてきました。また、北海は伝統的に課外活動を大切な教育活動として位置づけ、スポーツ、文化活動ともに輝かしい実績を築き上げてきました。課外活動は、生徒がそれぞれの個性を磨き、さまざまな人間的力を身につけることのできるのがえのない場です。

少子化などで困難な局面を迎えてますが、知恵を出し合い工夫を凝らして、課外活動の活性化に努めたいと考えています。今後とも校友の皆様のご協力、ご支援を心よりお願い申し上げます。

北海で化学を教え始めて34年を超え、今年の校友の集いの幹事は50歳になつた最初に教えた2年生達でした。当時の拙い授業でのシーンを懐かしそうに語ってくれる姿に、よく覚えていたなど感心します。それだけに教師は、常に精進しなければならないと改めて実感しています。

この4月から教頭の重責を担わせてもらっていますが、長い北海の歴史と伝承を継承しつつ、新しい歴史と伝統を創り上げていくことの難しさを改めて実感しているところです。校友の皆様が誇れる北海の發展のため知恵と力を尽くしたいと思います。北海のさらなる發展のためお力添えをお願いいたします。

が注がれていたことなどを考えると、北海の歴史がもつグローバルな視点を今後の国際教育・国際交流の中で活かさなければならぬと思います。

かつて江戸から明治という大きな変革の時代、新しい時代を切り拓く原動力となつたのは独自の教育理念と教育方法をもつた地方の私塾「私学」でした。大きな時代の変革期を迎えている今こそ、地方私学の志を新たにすべき時であろうと思います。「希望とは自分が変わること」（養老孟司）

――学校という場もまた、自らをよりよく変えていくことで、そこに学ぶ人々と社会の希望を創り出さなければなりません。

北海高校は再来年、創立130周年を迎えます。時代や社会の要請に応えつつも、「スターのマーク」に象徴される北海の教育精神「人間教育へのまなざしを堅持しながら、文武両道をめざし明るく活力のある学校でありつづけたい」と願っています。

今後とも校友の皆様のご協力、ご支援を心よりお願い申し上げます。

教頭 野田郁夫



この4月から教頭の重責を担わせてもらっていますが、長い北海の歴史と伝承を継承しつつ、新しい歴史と伝統を創り上げていくことの難しさを改めて実感しているところです。校友の皆様が誇れる北海の發展のため知恵と力を尽くしたいと思います。北海のさらなる發展のためお力添えをお願いいたします。

平成25年度北海校校友会総会

平成25年度北海校校友会総会は、去る5月31日

(金) ロイトン札幌を会場に行われた。

総会に先立ち、校友物故者に哀悼の意を込めて黙禱をささげた後、本会

を代表し、遠藤安知会長(中学44期)の挨拶が行

われた。挨拶の中で平成24年度第2回幹事会にて協議され、平成25年12月までに新会長を選考する条件で現会長並びに現副会長がもう1年間継続することを報告。また、会長選考特別委員会は現在の役員と常置部長で編成することも報告があつた。

次に門屋義行事務局長(高校21期)から平成24年度活動経過報告・決算報告、平成25年度事業計画並びに予算について、新事業として支部の活性化を目的とした「支部運

営費」を含める提案報告があつた。

総務部長高島篤(高

校25期)から校友会表彰規程「第1条母校の名譽を高める社会的功績のある会員または校友会活動に顕著な功績があつた会員については、正副会

長の議を経て、顕彰することができるものとする。」について変更する

以上の報告終了後、副会長・常置部長・支部長紹介が行われ閉会した。

報告があつた。

この表彰規程により、昭和62年に旭川支部支部長として就任されて以来、平成23年までの25年間に渡り旭川支部发展のため多大なご尽力をいたしました前旭川支部長の故信田国利様の表彰状授与を奥様信田矩子様に校友の集いで行う報告があつた。

以上の報告終了後、副会長・常置部長・支部長紹介が行われ閉会した。



高校33期 木村正美

「校友の集い」を終えて

我等高校33期が「原点

もう一度、あの頃へ還ろう」をテーマに全力で

取り組んだ校友の集いに、多くの方々より沢山の励

ましのお言葉を頂戴し、心より御礼申し上げます。

又、幹事を終えた先輩の皆様から当時の資料等を

基に、30才以下の若年層並びに女性が少しでも参

加しやすい環境作りを重視し議論を重ねて来ました。

世代を超えてのオモテナシを理想に実施した

校友の集いは、700名に若干達成せず、30才以下

の校友は51名、その中で女性が20名程の参加を

頂き本当に感謝しております。目標を下廻り課題

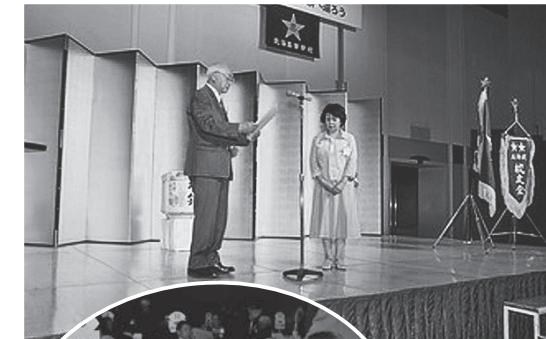
は残りましたが、新たな取り組みとして今後の開

催の一助と成れた様に感じます。当日特に印象深



緊張感たっぷりで、時間経過の中で、集い前に33期全員で円陣を組み、エールそして校歌を思い切り齊唱し緊張を和らげ気持ちを一つにし、本番へ

を迎えた感覚は心に刻まれています。最後のクライマックス全員での校歌齊唱「拳を右に高く」掛け声が聞こえた瞬間、背筋がピンと伸び興奮して体中が熱くなり、鳥肌が立ち、魂が燃え上がり声を出し歌つて行く中、何人かの方が、拳を振りながら齊唱している姿は、北海魂を呼び起こし、北海愛の誇りを思い出せたんだ!!とこの場面が心に残つてます。



で有り財産になりました。
結びに当日迄ご尽力を賜りました遠藤会長並びに各役員の皆様、又企画立案そして変更と色々ご迷惑をお掛け致しました北

明前校長と教職員の皆様、そして高校在学時よりも今回気遣い並びにアドバイス頂いた高校31期32期の先輩に感謝とお礼を致します。母校北海の発展

と校友全ての皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。高校34期の皆さん頑張って下さい。私達も応援致します。
北海万歳!!



「平成26年度校友の集い」のお誘い 伝統から未来へ『躍進』

高校34期実行委員長 加我 洋三

今年の5月に遠藤会長より委嘱状を頂き、我々34期は来年の校友会に向け準備中でございます。創立129年という歴史と伝統ある北海の名に恥ぬよう鋭意努力していく所存でございます。早いもので卒業して32年という年月が経ち50才という節目の年に実行委員を務めるにあたり『さて来年はどういう内容にするべきか?』『やはり我々の時代は男子カラーが強かつたので、あえて男っぽさを強調しよう』『いやいや男女共学になつても絆の強さを改めて感じ、校友会を通じて沢山の方々と出会い一言では語り尽くせぬ感謝の念で、私自身の宝

れを誇りに思つておりますし当時学んだ『質実剛健』『百折不撓』の精神があつたからこそ現在があると確信しております。時代は変わつても、共学になつても『北海魂』は変わらないという熱い想いを現代風に伝えて参りたいと考えております。そこで考えたテーマは『伝統から未来へ 飛躍』という事で意見は纏まりました。34期一致団結し精進して参りますので、諸先輩の皆様そして後輩の皆様、どうか一人でも多くの方々にお声を掛けて頂き参加して下さいます様心よりお願ひを申し上げます。

平成26年度 北海校友会 総会・校友の集い 日程等について	
電 話	住会日時 受付時間
011-511-3113	所場会場 札幌市中央区南10条
	総会会期 午後5時30分
	校友会 午後6時30分
	札幌バーカホテル

もちろんの事、応援歌ナンバー1・2・3の歌詞は脳裏に焼きついておりそ

寄付金御礼

教育振興資金への寄付

高校16期



平成25年9月24日に北海校友会校友の集い



平成25年6月19日に高校16期の「獅子の会」の代表である長光雄様と長谷川憲司様が来校され奨学金に活用いただきたいと12万円の寄付金の贈呈をされました。心より感謝申し上げます。

北海高等学校 校長 山崎省一

高校31期



平成25年7月5日に高校31期会代表である佐々木秀人様が来校され奨学金に活用いただきたいと3万円の寄付金の贈呈をされました。心より感謝申し上げます。

北海高等学校 校長 山崎省一

組織強化部 お知らせ 部長変更

校友会の活性化

組織強化部部長
高校26期

金井重雄



平成23年度、校友会の活性化を図る為、会則および組織が改定されました。

常置部として、総務・組織強化・広報名簿・奨学支援・財政の5部会が

各々の責務を遂行すべく、積極的に活動を行つております。

わたくしは、会則改定の特別委員会より携わらせていただき、組織強化部副部長を経て、今年4月には箱崎先輩より引き継ぎ、部長に任命されました。重責ではあります

幹事、高校33期会代表の木村正美実行委員長、杉山充宏様が来校され部活動に活用いただきたいと49万円の寄付金の贈呈をされました。心より感謝申し上げます。

が強い志をもつて頑張っているところであります。我々、組織強化部は、独自の会則を持ち、高校6期の先輩をはじめ高校41期までの部会員22名により強いチームワークのもと構成されております。活動の目的は、校友会組織の強化であり、その内容は、各期の同期会の確立および代表幹事の選出です。現在、代表幹事となつておられる方々それぞれの諸事情により、その役割は果たされていません。主に高校38期～現在の卒業期までのほとんどの期が活動停止の状態です。どうかこの期に該当する皆様で代表幹事として名乗りを上げていただけれる方はおられませんでしょうか。連絡をお待ちしております。

各支部の方々とも連携をもち、校友会の更なる活性化を図り、「北海」という二文字に様々な想いを抱きながら、皆で力を合わせて日本一の校友会を目指そうではありますせんか。

どうか、切にお願い申しあげます。

財政部からお知らせ

昭和56年10月の臨時幹事会で終身会費制度が導入されました。平成23年に発足した財政部では、

3年目の今年の収納状況によりましては、来年度から新制度に衣替えをする検討をしております。

いつもご協力いただいている方々には大変感謝しております。今後ともご協力いただいておりますが、多くの方は終身会費へのご協力をいた

す。

終身会費制度の周知徹底が会員の皆様へなされていなかつたので案内等に努めて参りました。しかしながら、終身会費完納者でご協力いただいたいる方は毎年の様に寄付金でご協力をいただいております。今後とも

ご協力方よろしくお願ひします。

財政部長 杉下道昭

活動経過報告	
平成25年度	置部長会議
4月9日 入学式	8月5日 財政部会議
4月17日 組織強化部若い期説明会	8月5日 広報・名簿部会議
5月13日 正副会長・常置部長会議	8月20日 第二回幹事会
5月21日 第一回幹事会	8月28日 組織強化部会議
5月22日 奨学金運営委員会会議	9月3日 広報・名簿部会議
5月30日 全国支部長会	
6月20日 広報・名簿部会議	
5月31日 校友会総会・校友の集い	
7月22日 正副会長・常	

2月下旬 第三回幹事会	2月28日 校友会入会式
(予定)	
3月1日 卒業式(予定)	
4月9日 入学式(予定)	

二〇一三年度進路決定状況

・進路指導部長 秋山秀司

2013年(平成25)10月31日

大学・短大志願者は、一九八〇年代の後半から団塊の世代の子どもたちが受験期にさしかかったことと、大学志望率の上昇などが重なって、受験競争は空前の厳しさとなりました。このピークは一九九二年で、この頃には大学進学を希望しながら、どの大学にも入学できぬ人が毎年四〇万人以上になりました。しかし、この年を境にして受験生は減少に転じ、入試の歴史上はじめて、長期にわたる受験生減少の時代に入ったのです。そして、ここ数年で大学・短大の志望者数が入学者と同じになり、選ばなければ誰でも大学・短大に入学できるいわゆる「全入時代」に突入しているといわれています。ただし、あくまで数字に示される統計上のことであります。現実はそう甘くはありません。受験生が減り始め

て、大学入試の競争率はたしかに緩和されてきました。私立大学の多くは、かなり難易度が下がっていますし、短期大学のほとんどは、一倍台そこそこの倍率となっています。

年次の終りに提出される「第一志願届け」が大変大きな意味を持ち、そこでの決定が、ほぼそのまま受験先となる率も高い状況にあります。三年生になってからは、積極的に放課後講習や模擬試験に取り組み、特進コースの生徒はもとより、進学コースの生徒でも果敢に国公立大をめざして努力している姿勢が見られます。自分の将来の夢を描き、強い信念をもつて「行きたい大学」への受験に臨んでいる北海生は立派くと思われます。

二〇一三年度(高校六十五期生)の合格実績は、次の通り。以前より、本校は教育大への合格実績は高いものを持っていました。また、看護系大学への進学実績は、全道で最も主要科目で全国の平均点が大幅にマイナス(国語の全国平均につい

てはセンター試験導入後、史上最低)となりました。生徒にはいくつもの障害があります。ただそれは北海生だけの問題ではありませんから、どのような状況にあってもそれを乗り越えていける学力・体力・知力が必要です。反省しなければなりません。今年度も70名程の生徒が浪人をしていますが、中には合格した国公立大を蹴って、北大を目指している生徒もいます。また、北海学園大学の併設校推薦を放棄してさえあります。私立大学でも一部の難関大学には相変わらず志願者が集中しており、二極分化の様相を示しています。今後もこの傾向はさらに強まり、「入れる大学」から「行きたい大学」へ受験生が大学を選別する時代が続くと思われます。

このような状況の中、北海高校でも三ヵ年を見通した進路指導の方針とその取り組みをおこなっています。低学年から全國の人気大学の授業に触れて、岩見沢市立高等看護学院

道大学6、旭川医科大学1、北海道教育大学16、小樽商科大学10、室蘭工業大学2、北見工業大学3、札幌医科大学1、札幌市立大学2、公立はこだて未来大学4、名寄市立大学1

【道外國公立大学】弘前大学4、新潟大学1、秋田大学2、群馬大学1、高崎経済大学1

【道内私立大学】北海学園大学I部113、北海学園大学II部5、北海商業大学7、札幌大学11、札幌学院大学8、札幌国際大学3、天使大学9、藤女子大学7、北翔大学5、北星学園大学22、北海道医療大学19、北海道工業大学11、北海道情報大学3、北海道文教大学20、北海道薬科大学8、酪農学園大学13、千歳科学技術大学3、札幌大谷大学2、札幌保健医療大学2、札幌保健医療大学3

【短期大学】光塩学園女子短期大学8、北翔大学短期大学部1、北星学園大学短期大学部6、北海道武藏女子短期大学5、札幌大学女子短期大学部3位となっています(道内国公立大学)北海

【専門学校】岩見沢市立高等看護学院

1、小樽市立小樽病院高等看護学院1、苦小牧看護専門学校1、北海道ハイテクノロジー専門学校
1、札幌医学技術福祉専門学校1、光塩学園調理製菓専門学校3、大原法律公務員専門学校4、札幌こども専門学校1、日本福祉看護専門学校3、札幌商工会議所付属専門学校3、北海道リハビリテーション大学校1、中村記念病院附属看護専門学校1、勤医協札幌看護専門学校1、札幌リハビリテーション専門学校2、札幌青葉鍼灸柔整専門学校3、医療歯科専門学校1、専門学校札幌スクールオブビジネス1、メディカルスポート専門学校1、札幌



男子バスケットボール部は部員40名で、全道大会出場を目指し「質実剛健」の精神で練習に励んでいます。平成24年度は秋季新人戦において札幌地区ベスト8となり、およそ30年ぶりに全道大会に出場することができます。

男子バスケットボール部

今年度は、インターへ
イ全道で惜しくもベスト
16で敗退しましたが、こ
の悔しい思いを後輩に託
し、全道大会常連校とな
るべく日々努力を重ねて
います。

道制覇を最大の目標とし
顧問・生徒一丸となつて
厳しい練習をしています
昨年は選抜全道でベスト
4まで勝ち上がり、夢の
全国大会まで後一歩とい
うところまできました。

部員24名、マネージャー12名でほぼ毎日活動し

運動部の 活動状況

した。これからも周囲の人たちへの感謝の気持ちを忘れず、チーム一丸となつて頑張っていきますので、応援をよろしくお願いします。

女子バスケットボール部は、全道大会出場を目

標に活動しています。平成24年度～25年度のシリー

活動をめざし、日々明るく活動をしています。

頑張っています。

今年度女子バドミントン部は、12名の新入部員を迎えて、全道大会上位を目指し日々練習に取り組

東プロック二部1位とな
り、秋季大会での一部復
帰を果たした。高体連で
は残念ながら金道大会進
んでいる。春季大会では

出はならなかつたものの、
北海道選手権では一年生
ペアが創部初の個人戦で、
道大会出場を果たした。
新人戦では改めて団体戦
全道大会上位を目指しが
んばっていきたい。

男子バレー部

それでも多く勝てるよう頑張っています。

頑張っています。

女子バドミントン部

女子バレー部

卓球部

卓球部は、男子6名、女子2名の計8名で現在活動しています。昨年度は7年ぶりに男子団体戦で選抜全国大会に出場し



柔道部

全道高校選手権団体戦では、男子が南北海道大会四連覇し、全国大会出場を決めました。女子においては、三連覇を目指していましたが、準決勝で敗れ、3位という悔しい結果となりました。個

人戦では主将の水野樹、副主将の相木飛磨が全道優勝し、水野が全国5位入賞という成績をおさめました。選手権に続き、インターハイ全道大会で、男子団体戦優勝し、二連覇。女子団体戦は三連覇を目指すも、またしても3位と、連覇を果たせずに終えてしまいまして。しかし、3年生を中心に、よくまとまり、最後まで心を一つにして戦うこと

新体操部

私たち新体操部は、高

体連支部大会で団体優勝を逃しました。全道大会に向けて集中力を強化し、練習を重ね全道大会では、函館支部の校友会の先輩方に激励を頂きながら団体優勝をすることができました。そして平成25年8月3日(土)～8月4

ありがとうございました。全国大会では、男子団体戦2回戦敗退、個人戦では、相木飛磨が2回戦敗退、水野樹、帶川蘭が、1回戦敗退という結果になりました。男子団体戦3位入賞という目標は達成できませんでした。

平成25年度 全国大会出場結果報告

せていただき、現地の高校生と交流し、台湾の歴史についても大いに学んだ。同じく夏休みに、部員全員で豊平区の保育園の夏祭りを手伝わせていました。

ただいた。事前に手作りのお面を200個作成して、園児たちに大変喜んでもらった。現在は冬の保育園訪問に向けておもちゃを作成中である。

9月に行われた、全日本ジュニア選手権大会(20歳以下が出席)では、相木飛磨が出席し、関東代表の大学生と互角以上の戦いをしましたが、残りわずかで反則を取り、1回戦敗退という結果になりました。

これからは新チームとなり、今まで以上の活躍が出来るよう、日々の稽古に取り組み、頑張って行きたいと思います。



日 (日) 佐賀県・佐賀総合体育館で開催された全国高等学校総合体育大会競技・新体操大会の出場

日 (日) 佐賀県・佐賀総合体育館で開催された全国高等学校総合体育大会競技・新体操大会の出場を果し、今年で8度目の全国となりました。結果は32位で目標であった25位には届きませんでした

が次年度に繋がる良い戦いができました。百折不撓、質実剛健を胸に新体操部はこれからも前進し、努力していきます。応援よろしくお願ひ致します。

写真部

NHK杯で準優勝している。卒業生には現在日本代表の主将を務める田中豪をはじめ多くの卒業生が日本代表やトップリーグであるアジアリーグで活躍している。(11月現在)現役選手はこれから全道大会(12月)インターハイ(1月)にむけて厳しい練習に取り組んでいる。悲願の全道、全国優勝へ向けてチーム一丸となって戦っていきたい。



アイスホッケー部

現在アイスホッケー部は3年生11名、2年生5名、1年生12名の計28名で活動している。練習は夏場には走り込みやウエ

野樹、帯川蘭が優勝し、全国大会出場を決めました。大会には、校友会十勝支部の先輩方も応援に来ていただきました。全国大会では、ありがとうございました。

現在アイスホッケー部は3年生11名、2年生5名、1年生12名の計28名で活動している。練習は

イトトレーニング、シザンに入ると主に月寒体育馆で氷上練習を行っています。OBや関係者の協力もあり年々部活動の環境も良くなっています。年間の試合数は練習試合を含めて60試合ほど行っている。主な戦績は昨年のインターハイではベスト8、今年度の全国選抜ではベスト8、南北海道

函館支部の校友会の先輩方に激励を頂きながら団体優勝をすることができました。そして平成25年8月3日(土)～8月4日活動している。練習は

年間の試合数は練習試合を含めて60試合ほど行っている。主な戦績は昨年のインターハイではベスト8、今年度の全国選抜ではベスト8、南北海道

今年も新入生向け歓迎冊子「北海タイムズ」を発行。5月に発行した「北海高校新聞」第181号では制服の乱れを改善できるかというテーマ



新聞局

池守真由（2年）輪
が最優秀賞、赤坂茉里（3
年）「はばたき」が特選
駒ヶ嶺有沙（1年）「フオ
ギー」が上位を独占し
計14作品が函館で開催さ
れる全道大会に出品する



マで座談会を企画し、生徒自身に考えてもらいう記事を掲載、春場した部活を取り上げた。7月の第182号では、部活動のほか「日中韓の未来を考える」、「戦時中の北海生」など、身近なところから北海生に考えて欲しい問題を提

時を刻んで

校友會名譽顧問



今年の3月、41年間勤めた北海高校を退職した。

創立百周年の諸行事・事業に結実するのである。もうひとつは1999

の夫君は新島襄である。
1875(明治8)年に
同志社英学校をつくった
新島襄は「私塾は政府に
於て捨てて問わざるが如
し。これ何の意ぞ。政府
の学校のみが国に適する
学校か、人材を養成する
か。……自由の精神を養
成するは、恐らくは私塾
に優らざるべし」と述べ
ている(『新島襄自伝』)。

體育科

40年という長い間、体
育科で勤務させていただき
いた北海高等学校を3月

末で定年退職いたしました。在職中多くの生徒達との出会いや想い出があり、また様々な経験をさせていただき本当に感謝しております。校長先生をはじめ、教職員の皆様には多々ご面倒をおかけしたと思います。これかららの北海高等学校のご発展を祈念しつつ、厚く御礼申し上げます。

川本泰博先生
藝術科

A black and white portrait of Mr. Katsuhiko Kawamoto, a middle-aged man with glasses and a suit, looking slightly to the right. The portrait is set within a circular frame with diamond-shaped borders.

をいただいた校友の皆様には、心から感謝を申し上げる。

の渦中に身を置くことが出来たことはことのほか幸せであった。



私が名門北海高校に勤

年の5月に生徒玄関前で催された「わだつみの像」の序幕式は、今でも鮮明に印象に残っています。

北海高校での美術部活動を含め、皆様には28年間お世話になりました。また、今年の3月には創

部100周年記念展・3年前には100回記念展を開催することができました。今まで美術部を

**数学科
斎藤正昭先生**



や卒業生の皆様に、心からお札を申し上げます。文武両道をめざす多くの生徒と様々な教育活動に取り組めたこと、コース制の導入や共学への移行という大改革にかかるることは、私ができたことは、私にとってかけがえのない経験となりました。これから北海高校の益々の発展と関係各位のご活躍をお祈り申し上げます。

司書
水野房江先生

「北海アーカイブ」

在職中は数多くの生徒から、常に若さと元気を頒かし与えられてきました。めぐりあえた算えきれない卒業生と教職員に、深く感謝しています。

現在は本校で、「図書検索システム」作成のボランティアをしています。

北海アーカイブには、1987年3月、波田正則先生の「最後の授業」



『吉備大臣入唐絵巻』より

ささえてくださった多くの方に深く感謝しております。

**北海高校への思い
上村章太郎先生**



今年度から北海高校に新任教職員としてお世話になっている上村章太郎です。教科は数学を担当しております。生まれは埼

とだらけで未熟者ですが、全力で北海高校に貢献したいと考え日々精進しております。これからよろしくお願いします。

**文武両道に惹かれ
木村人生先生**



ました。北海高校は雰囲気がよく、運動部も盛んなので、16年間器械体操をしている体育会系の私にとっては、大変良い職場に就けたと思っています。日々忙しく、新しいことだけではなく働くことができています。まだ分からないことが多く、迷惑をかけることもあります。あると思いますが、よろしくお願いします。

今年度から北海高校の数学の教員として働くことになりました。今年3月までは北海道大学大学院で数学の研究をしてい

**生徒を育てる学校図書館
司書後藤彩先生**



今年度から、北海高等学校的図書館の司書教諭として勤務させていただきました。本校を平成14年3月卒業の第54

期生です。その後、北海道大学附属図書館や道東の標津町の公立図書館で図書館学を勉強しました。大学図書館では様々な国籍の学生に対応し、公人まで幅広い年齢の利用者へ読み聞かせやブックトークなどを行いました。今までの勤務経験を活かして生徒の指導に全力を尽くしますので、よろしくお願いいたします。

**新たな気持ちで
山内隆宏先生**



去年までFC東京バレーボールチームに所属していました。縁あって教員のお話を頂きまして、プレーする側から教える側の立場として昨年度はコーチとして1年間勉強してきました。現在は男子バレーボール部を指導しています。教員として1年目でわからないことがたくさんありますが、精

しくお願いします。

今年度から北海高等学校で勤務することになりました。山内隆宏です。

教科は保健体育です。

新任あります

校友の動向

「弁論部での活動を経て」



【略歴】
高校時代は弁論部に所属。大学では、全国青年弁論大会に出場し一般の部で最優秀賞を受賞。現在は、北海学園大学大学院経済学研究科修士課程に席を置く。

北海学園大学 大学院経済学研究科 修士課程在籍
高校60期 内藤泰葉

高校時代の弁論部での
ご活躍をお教えください。

ださい。

活躍は出来なかつたで
すね（笑）。高校弁論部
時代は、やつてきた弁論
が頑張つても結果に結び
つかず悔しい思いばかり
でした。

大学2年生のころに全
国青年弁論大会に出場
し、実は一般の部で最
優秀賞を受賞したんです
よ！私は高校卒業後北海
学園大学の経済学部に進
学し、ゼミナールで夕張
市の調査をしました。夕
張市の現状の調査と、調
査を経て自分自身が感じ
た想いをテーマに弁論を
しました。弁論内容を話
せば長くなるので校友会
だよりが全部私の記事で
埋まってしまうかもしれません
が北海高校の卒業生とい
うことも少し影響がある
だけです。

高校、大学と弁論を続
け、その後その活動が内
藤さんにとってどのように
に活きていますか。今後の
抱負も一言お願いしま
す。

高校時代の悔しい経験
時代は何か大会に出場し
ましたか。また、出場し
た大会があれほどどのよう
な弁論をし、どのような
結果だったのかお教えく
ださい。

が出来ましたし、さらに
その活動で得た知識を活
かせる職場から内定をい
ただくことができました。
今後は弁論部で培った考
える力と粘り強さを持つ

ただくことができました。
たゞかの役に立つお仕
事をしていきたいと思
います。

「ソチ五輪にむけて」



【略歴】
本校在学中より校外活動のスノーボード競技で活躍。現在は日本体育大学に在籍し、ソチ五輪のスノーボード日本代表候補として注目を集めている。

日本体育大学体育学部体育学科 スキー部スノーボード
高校65期 子出藤歩夢

スノーボード競技を続
ける上で北海高校を選ん
だ理由を教えてください。

北海高校は道内では一
番といえるくらい部活動
も盛んで勉強の面でもし
っかりできる学校だと思
つて進学を決めました。
スノーボードをやってい
ることに理解を示してくれ
て、遠征で不在にした
ときでも、勉強の面など
しっかりサポートしてくれ
ました。あとは、父親
が北海高校の卒業生とい
うのが正直な感想ですね。

卒業後、日体大に進学
して今はスキー部に所属
しています。今まで
つと個人で練習してきて、
「部活」という枠組みの中
に入ったことがなかったの
で、新鮮であり色々な刺
激を受けている毎日です。

ソチ五輪にむけての抱
負をお願いします。

高校時代で印象にこ
つている想い出などあり
ますか？

高校時代の悔しい経験
時代は何か大会に出場し
ましたか。また、出場し
た大会があれほどどのよう
な弁論をし、どのような
結果だったのかお教えく
ださい。

現在の活動を教えてく
ださい。

活躍し、北海高校に銅像
を建ててもらえるよう頑
張ります（笑）。

て、誰かの役に立つお仕
事をしていきたいと思
います。

西日本支部総会

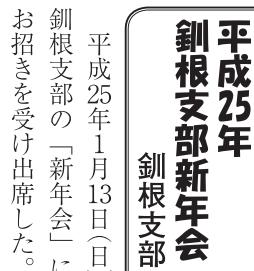
西日本支部

西日本支部の運営にご理解とご協力賜り厚くお礼申し上げます。

本年度の西日本支部総会

**宗谷支部****支部・同期会の動き**

は、今から約30年前に同窓会を開催して以来、長らく活動停止状態が続していました。この状況を何とか打破しようと、平成24年夏に稚内市在住の林一寿氏が有志に声をかけ、同年11月に開催にこぎつけましたが、悪天候に見舞われ中止に。それがこのたび念願叶い、総勢19名の集結のもと10月5日に開催することができました。役員体制も整った今、改めて一致団結し、決意を新たに宗谷地方から校友会を盛り上げていきたいと考えています。

**鍾根支部**

会場は、18期生の野澤弘美君が勤務している鍾路市生涯学習センター（レストランまいづる）であった。

午後5時、この1年間

の物故者に捧げる黙祷によつて会が始まられ、続いて校歌を斎唱した。普

つぱく語られた。

鍾根支部は、鍾路・根室ばかりでなく、白糠・

厚岸・阿寒・紋別・網走

等に在住するOB

を包括し仲々の大

世帯である。かつて支部長として校

友会活動に尽力さ

れた寺井二郎氏の

ご遺志が引き継がれ、会員相互の親

睦を大切にし、母

校の発展を願うア

ットホームな雰囲

気に満ちている。

鍾路市を中心

に開かれた運動や文

化の各種大会・競

技会や会合に参加

した各部の引率者

や部員は、鍾根支

部の皆様に少なか

らずお世話になつて

いるのである。とりわけ、現

役時代スケート部の顧問

であつた私は、スケート

の街鍾路を訪れることが

多く、鍾根支部の事務局

でもある17期生桂康夫君

の「松寿し」は、全国の

スケート関係者の良き交

流の場であつたことを感

謝とともに思い出す。

宴の締括りは、鍾根支

部恒例の「北海ダービー」

で、新春の運を占おうと

一枚の馬券に託し大いに

沸いた。



道南支部

平成24年度道南支部総会懇親会は11月10日（土）湯の川大黒屋旅館で開催した。当日は遠藤安知北海校友会会长に御出席をいただき、又札幌在住高20期箱崎徹さんにも御出席いただきました。

高2期から57期まで18名の出席で内訳は次の通りでした。

会員の知らない時代の北海の話に若い会員が聴き入っていたのが印象的でした。二次会も遠藤会長を交え深夜まで話が尽きました。

かつて転勤で函館勤務中会員であった校友が多くて校友の集いで会つたりして盛り立ててくれています。

今年は11月

16日（土）湯

の川イマジン

ホテルリゾー

ト函館で総会懇親会を行います。今年も新会員の出席が予定されています。今年も一同楽しみにしています。

支部長 高4期 滝本洋一

高1期台3名、高10期台5名、20期台2名、30期台2名、40期台3名、50期台3名、計18名（54期女子1名出席含む）

遠藤会長から出席した会員の知らない時代の北海の話に若い会員が聴き入っていたのが印象的でした。二次会も遠藤会長を交え深夜まで話が尽きました。

江別支部総会開催

江別支部

平成25年6月8日（土）に市内の我々の先輩が経営しているレストラン「あおい」にて開催致しました。

会には北海校友会会长遠藤安知様がお忙しい所

ご出席頂き、校友会につ

いてご挨拶を頂きました。

今年は高4期から高58期

までの16名の参

加で、最初に今

まで亡くなられ

たされた諸先輩に対

して黙祷をし、

引き続き24年度

の決算報告、予

算報告など全会

一致で承認され

又、全国支部長

会議での内容を

報告し総会は終

了致しました。

引き続き高4

期の大江先輩の

音頭で懇親会に入り全員の近況

報告、そのあと

は恒例のbingo

ゲーム、他に先

輩が提供してくれました。

この度、新しく校長に就任されました山崎校長先

生より、就任のご挨拶な

らびに母校の近況報告な

ど、詳しくお話ををしてい

ただきました。

続いて校友会組織強化部金井部長よりご挨拶

をいただき、校友会組織

強化部の活動についてお

話をいただきました。

24年度の決算報告等、

全会一致で承認後、十勝

支部三城副支部長（高

17期）の乾杯の音頭で、

お待ちかねの懇親会へ、

懇親会では、柳沢幹事長（高

17期）の乾杯の音頭で、

お待ちかねの懇親会へ、

懇親会では、柳沢幹事長（高17期）の乾杯の音頭で、お待ちかねの懇親会へ、

(高27期)の司会で出席者全員の自己紹介、全国屈指の伝統校だけに、當時の話に皆さん熱が入り持ち時間を大幅に超える状況の中、今年も元気のご出席いただきました。阿部先輩(中41期)と藤森先輩(中41期)お二人は、北中時代の同級生でありクラスメートとのこと、当時は戦時中で勉強の傍ら軍事工場で勤労奉仕をした時代、当時を振り返り、大変ご苦労されたお話を熱く語って下さいました。又、今回特別参加としてご出席いただいた組織強化部金井部長同じく佐藤副部長のお二人は歴代の北海の猛者としてその名を知られた存在、当時の武勇伝は数知れず、話す側も聞く側も、この時はかりは全員、昔良き時代のあの頃に戻ったようでした。

懇親会も終盤に入り組織強化部佐藤副部長のエールの元、全員で応援歌ナンバーワンを熱唱し、最後に旭川支部大物幹事長の中締めで会も終了。

語りつくせぬ話は二次会から三次会へ、お疲れ



惠庭支部

地域の高校野球の
を目的とした『北
々友会恵庭支部主
審野球大会』が8
（日）、恵庭市民
開催しました。
も毎年恒例となつ
今回で第26回とな
た。

の御支援があつたからだと感謝しております。この場をお借りしまして御礼を申し上げます。

懇親会を開催します
教職員支部は発足
り「研修会」を毎年
して います。今年は
省一新校長より「北
校の現状」というタ
ルで男女共学における
幅な教育現場の変化
で今も変わらぬ北海
育精神を受け継がれ
ることを教えていた
ました。また、
大矢 嶽（高
47期・上富良
野高校教諭）
さんからは
「小規模校で
地域と一緒に
なった学校そ
して野球部の
取り組み」と
いうタイトル
で、野球とい
う部活動を通
して人間形成
する重要性を
学ぶことがで
きました。そ
して懇親会で
は懐かしの多
くの旧職員に
ご出席いただ
き、久しぶり
の再会に目頭
を熱くしまし
た。



教職員支部 会長 三室
尚隆（高27期）

二十二年ぶりの同期会 （高校10期）

昨年春に送られて来た行方不明者名簿の中に、今も現役で活躍している者の名前を見つけ、早速、校友会事務局通知した。これが発端になり、校友会の当番期以来、二十二年ぶりの同期会を開催することになった。

中には卒業以来初めてと言う輩もいて、思い出すのに苦労したが、そこはそれ、数分もすれば「裏のヤフ」から猛者が出来た。「世代の北海健児、罵声が飛び交い、木造教室の男臭い時間に戻ったのは言うまでもない。

同期会を前に有志が野幌の開拓の村に出向いたが、昔のままの校舎に、合掌する者もいた。

校長室では歴代の校長の写真が全部我々と関わった先生方だったのには感激した。

帰り際には校門の前で、応援団長の武市芳清君の音頭で応援歌を歌い、今は吸わなくなつたタバコをイサミになるまで回し



集まりが核になつて、春の校友会に必ず出席することと、毎年、秋に同期会を開き、多くの同士を集めることを約束して解散した。

（幹事長 宮坂 明由・
○九〇・五九八五・五三八）

※印は幹事
来賓 松竹谷智
岡田武義 小野寺功

恒例のホクテン会 （高校10期）

6月25日、今年も「ホクテン会」の集いを新宿で開催しました。顔を合わせると、いつものことながら昨今の近況が話題の中心になる。次第に往時（豊平の「平岸の」）の話で一気に青春時代へ遡る。今夏の暑さのように、熱い語りで大いに

ホクテン会 （高校10期）

（幹事長 宮坂 明由・
○九〇・五九八五・五三八）

盛り上がる。70代の半ばを迎えるとしているが、歳で鍛えた北海健児の魂は、まだ健在！

内では、皆口々に「何十年ぶりだろう」「子どもが小さいときはよく来たなあ」等話しながら約1時間程「園長おすすめコースマップ」に沿つて園内を見学した。

同園飼育課長から希少動物の繁殖や種の保存について話があり、大変参考になつた。特に職員が賢明に取り組んで人気のあるホツキヨクグマ「ララ」と2頭の小熊館では親子の情愛の姿、全長4m、体重350キロのアムール虎館ではその迫力に圧倒された。熱帯鳥類館の階段を上がる時はさすがに運動不足を実感した。恩師佐藤寛先生は息も切らせず堂々の83歳には我々も驚いた次第。

午後5時半から近くの居酒屋にて懇親会あり、冷えたビールで一息。

ここからホクレンOBの富井君、妙典寺住職の塙島両君が参加。住職から海外での葬儀の話、遺骨の扱い、墓の話等あり、

円山動物園見学会 （高校11期）



うことで実行された。園内では、皆口々に「何十年ぶりだろう」「子どもが小さいときはよく来たなあ」等話しながら約1時間程「園長おすすめコースマップ」に沿つて園内を見学した。

同園飼育課長から希少動物の繁殖や種の保存について話があり、大変参考になつた。特に職員が賢明に取り組んで人気のあるホツキヨクグマ「ララ」と2頭の小熊館では親子の情愛の姿、全長4m、体重350キロのアムール虎館ではその迫力に圧倒された。熱帯鳥類館の階段を上がる時はさすがに運動不足を実感した。恩師佐藤寛先生は息も切らせず堂々の83歳には我々も驚いた次第。

午後5時半から近くの居酒屋にて懇親会あり、冷えたビールで一息。



高20期「成人会」を開催する （高校20期）

恒例の「成人会」をジ

参加者の持病の話等消し飛んでしまうほど、珍しい話題に時間のたつのが早く感じられたほどだった。



高校24期 還暦を祝う会

過日、5月10日に札幌グランドホテルで、同期会を開催しました。

ヤスマツクホテルで24年
11月17日開催致しました
北明校長並び出席いただ
いた先生方を囲み、その
中に奥様の介護でなかなか
か出席できなかつた安井
先生が参加してくださり
大いに盛り上がりつた楽し
い会となりました。今回

は今までで一番人数の少ない会でありましたが、員の清々しい笑顔・声が会場いっぱいに溢れておりました。次回も今回に勝る会にしたいと幹事一同思つております。

高校26期 総会・同期会

私達は、昭和30年4月

会の事業と
しては毎年1
回、総会と同
期会を開催す

の当番に集つて以来10年目となるこの年は皆が還暦になる年であります。

一致団結して、その思い現し、盛大に終える事ができました。この団結力は、北海高校での3年間に養われ、そして20代の時から毎年同期会を開催し続けた事の賜物だと思つています。

が、その後の同期会で酒が入ると、気持ちは高校時代にタイムスリップし還暦間近の親父とは思えない会話が飛び交います。また後半にはクラスごとにマイクを回し、1人ひとりの近況報告や思いを語る時間を取り、その話の中でもまた新しい友情や仕事上の協力関係が出来

各支部総会・同期会を開催されている記事を紹介しております。



追悼 坂井祥仁先生

元本校国語科教諭・坂井祥仁先生が平成24年10月2日に逝去された。享年76歳。坂井先生は函館のご出身で、函館西高校、北海道大学文学部をご卒業。昭和35年に本校に赴任され、平成11年に定年退職され、本校研究紀要第3編（昭和53年1月）にも「万葉の雪」という論文を発表されている。子識の深い先生であった。また、学生時代からバレーボールに打ち込み、本校でも長年に亘りたつてバレー部の顧問を務められた。札幌ハレーボール連盟の役員としても大きな役割を果たされた。孤高の英才でしたが、お酒をこよなく愛し、美声で上手な歌を聞かせてくださいとご冥福をお祈りする。

北海校友会

平成24年度決算書

(期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(収入の部)

項目	予算	決算	増減	摘要
前年度繰越金	2,436,847	2,436,847	0	
在校生会費	3,669,000	3,665,400	▲3,600	①360×1,011件 ②240×13,756件
終身会費・年会費・寄付金	1,500,000	1,584,000	84,000	①1,000×39件 ②5,000×7件 ③10,000×150件 寄付金70件
雑収入	1,153	50,236	49,083	23期からの寄付金、利息他
合計	7,607,000	7,736,483		

(支出の部)

項目	予算	決算	増減	摘要
新校友歓迎費	350,000	324,800	25,200	卒業記念品(印鑑)
印刷費	1,000,000	1,083,690	▲83,690	校友便り、封筒、振込用紙印刷
支部総会同期会補助費	100,000	80,000	20,000	支部同期会(10件)
会議費	650,000	582,274	67,726	幹事会・支部長会会場費
常置部会運営費	150,000	88,720	61,280	各常置部会補助
事務運営費	1,000,000	994,283	5,717	ホームページ運営費、専名ラベル、用紙他
通信費	2,500,000	1,148,765	1,351,235	校友の集い、幹事会案内
慶弔費	50,000	57,026	▲7,026	祝金・香典・弔電・供花
旅費交通費	600,000	351,930	248,070	支部長会・幹事会旅費他
生徒会機関誌費	150,000	150,000	0	生徒会機関誌補助
積立基金	700,000	700,000	0	校友会積立基金へ
予備費	307,000	0	307,000	
振込手数料	50,000	27,660	22,340	振込手数料、会費新便振替手数料
次年度繰越金	0	2,147,335	▲2,147,335	
合計	7,607,000	7,736,483		

☆ 次期繰越金 北洋銀行豊平支店

普通預金 495478 2,147,335 円

現金出納簿および預金通帳並びに関係書類と照合の結果正に経理されていることを確認致しました。

平成25年5月/日

北海校友会会长 遠藤 安知 殿

会計監査員 橋本昌浩 印
会計監査員 金山涉 印

北海校友会

平成25年度予算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(収入の部)

項目	予算	摘要
前年度繰越金	2,147,335	
在校生会費	3,618,000	①3,000×1,206
終身会費・年会費・寄付金	1,500,000	
雑収入	665	利息 他
合計	7,266,000	

(支出の部)

項目	予算	摘要
新校友歓迎費	350,000	卒業記念品
印刷費	1,100,000	校友だより 封筒 振込用紙 住所変更届
支部総会同期会補助費	100,000	支部総会 同期会
会議費	650,000	幹事会 支部長会
常置部会運営費	150,000	①30,000×5部
支部運営費	130,000	②10,000×3支部 ③5,000×20支部
事務運営費	700,000	ホームページ維持管理 専名ラベル 消耗品 他
通信費	2,500,000	総会案内 校友だより 郵送料
慶弔費	50,000	祝金 弔電 供花 香典
旅費交通費	900,000	支部長会 定例幹事会 組織強化部派遣
生徒会機関誌費	100,000	生徒会機関誌補助
積立基金	250,000	
予備費	236,000	
振込手数料	50,000	終身会費・年会費加入者負担分 他
合計	7,266,000	

平成24年度特別会計決算報告書

校友の集い決算書

項目	金額	摘要
会費	4,668,000	④6,000×778
広告協賛金	2,541,000	147件
ご祝儀	145,000	
	7,354,000	

項目	金額	摘要
会場費	3,535,619	パークホテル
アトラクション	124,400	花束(各担任)・余興寸劇他
印刷費	695,835	会券、チラシ、プログラム他
記念品費	833,000	扇子他
雑費	1,648,416	事務費・通信費・DVD他
合計	6,837,270	= 516,730

積立基金

項目	金額	摘要
前年度繰越金	9,589,392	
一般会計より	700,000	
総会残	516,730	
名簿収入	25,000	
東日本大震災義援金	306,680	
利息	1,601	
合計	11,139,403	

(普通預金)	0506556	1,283,431	
(定期預金)	0484982	(0008) 3,030,757	(0009) 5,000,000
		(0010) 1,517,755	預金合計 10,831,943

奨学生維持会費

項目	金額	摘要
前年度繰越金	956,270	
利息	154	
合計	956,424	

(普通預金) 0538476 956,424

項目	金額	摘要
流动資産(金銭信託受益権)	450,041	
固定資産(貸付信託受益証券)	18,000,000	
合計	18,450,041	

現金出納簿および預金通帳、定期預金証書並びに関係書類と

照合の結果正に経理されていることを確認致しました。

平成25年5月/日

北海校友会会长 遠藤 安知 殿

会計監査員 橋本昌浩 印
会計監査員 金山涉 印

寄付金・終身会費
年会費納入者一覧

この度は 寄付金・終身会費にご協力いただき
誠にありがとうございました。
校友だより第53号掲載分以降
平成24年10月1日から平成25
年10月10日までの分を掲載し
ます。

編集後記

「広報部ってなんだろう。」
お恥ずかしながら広報部がどんな活動をしているのか知つたのはつい最近のことでした。

私が広報部に入ったきっかけは、営業活動で高校49期生の先輩に出会い校友会に出席したことでした。

校友会に出席し沢山の先輩方をご紹介いただき、改めて北海高校の絆の強さを感じました。

私が北海高校の絆の強さに初めて気が付いたのは就職活動時でした。出身高校を口にした途端、面接官の眼の色が変わったのを今でも忘れません。私が就職をし、営業活動で出会つたお客様が北海高校の先輩で「高校何期生?」と聞かれ、すぐに答えられずにいることがつかりされたこともあります。

私が思つた以上に北海高校の先輩方は「北海高校を卒業した」ということに誇りを持ついらっしゃいました。

沢山の先輩方に出会い、北海高校の「絆」が誇りが、時代の流れとともに稀薄になつてきてることに気が付かされました。

「広報部に新しい風を吹かせよう!」「OGの姿も先輩方に見ていただきたい!」と、広報部に入るよう声をかけてくださった先輩方の声を無駄にしたくはありません。

OGの活躍している姿も沢山の先輩方に見ていただきたい、若い方達にももっと校友会に出席し先輩方とお話をし欲しく、そんな想いから今こうして編集後記を書いています。

平成25年
《高校第65期》
校友会クラス幹事



まだまだ手さぐり状態ですが、北海校友だよりを通して、北海高校の魅力と絆を沢山伝えていきたいと思います。
※北海校友会のFacebookページが完成いたしました。
北海校友会で検索するとご覧いただけます。沢山のいいね!とシェアをお願いいたします。